



## 地方通信

### 北海道地方

#### 北海道十勝地方の復舊工事

北海道十勝地方に於ては、九月以降の豪雨のため、多數の道路橋梁が破損したので、これが災害復舊工事は町村費支辨にて近く

施行されることとなつたが、この災害復舊工事に要する總工費は七萬二千八百八十四圓にして、工事種別は道路一、橋梁十七、

### 東京市内のロータリー・システム

護岸工事三ヶ所である。而して、これが町別は左の如くである。

(一) 道路——一ヶ所(工費二千五百圓)  
(二) 橋梁——大樹五、芽室三、豊垣四、

### 關東地方

(三) 護岸——川西一、本別二、大津一、廣尾一、(以上工費五萬五千百四十四圓)  
川西一、本別一、大津四、(以上工費一萬五千二百四十圓)

千葉縣木更津海軍飛行場が近く着工の運びとなつたので、現在の指定府縣道千葉・北條線は木更津、館山の二大海軍飛行場を控へることとなり、同線の交通は將來頻繁となる上に國防上重要となるので、同線を

和田倉門外にロータリー・システム式交通整理方法を試験的に實施して以來一般の好評と好成績を得たるに鑑み、五月頃より、同一のロータリー・システム式交通整理方法の實施箇所は次第に増加し、池袋一丁目(五月十一日實施)、藏前片町(五月十日實施)、大崎廣小路(五月十八日實施)、神田福

田町(七月八日實施)、池ノ端仲町(六月十三日實施)の五ヶ所に設置され、最近に至つては千束町一丁目、神宮裏參道、駒形橋東詰、神田今川小路、本郷一丁目、西神田二丁目、三河島五丁目等に設置される由である。これによりて、東京市内の交通が整理され、自動車の速度が早められることと大いに期待されてゐる。

### 千葉縣下千葉・北條線の國道編入運動

千葉縣木更津海軍飛行場が近く着工の運びとなつたので、現在の指定府縣道千葉・北條線は木更津、館山の二大海軍飛行場を控へることとなり、同線の交通は將來頻繁となる上に國防上重要となるので、同線を

現在の如く府縣道に委ねることは不可にし、軍事國道に編入されるのが至當であると考へ、各關係町村では、同線の國道編入運動を開始した。同運動は現在の日本橋・小

松川・小岩・市川橋・千葉縣廳前まで約二十八キロは國道として平均十二メートルの幅員を以つてゐるので、これに次いで縣廳前

から現在の指定府縣道千葉・北條線の延長九十九キロ二九、幅員平均五十メートル五

〇を國道の最低幅員八メートル五〇、有効幅員七メートル五〇まで擴張し、館山より東京までを最低幅員八メートル五〇以上と

なし、軍事國道に編入して速やかに着手されたといふのである。これに要する總工費は二百六十萬圓と見積られてゐる。

**埼玉縣中瀬橋の開通**

埼玉縣と群馬縣との縣境を流れてゐる大利根川に架設中なりし、中瀬橋は今秋同地方に行はれる大演習のために日夜鋭意工作を怠いでゐたが、今回見事に竣工したので、各關係町村青年團、在郷軍人の援助を受け、撒水自動車十五臺も出動し、修路心得を制定して、道路の修理と撒水清掃を行ふ

費を以つてゐるので、これに次いで縣廳前

九月三十一日橋畔の大里郡中瀬村地内の河原に於いて、盛大なる開通式が舉行された。

## 北陸地方

### 新潟縣下野諏美橋の開通

同橋は延長八百九十四メートル七〇、有効幅員五メートル五〇のモダン橋にして、昭和六年十月起工以來滿三ヶ年の年月と總工費六十萬五千圓を費したる本縣第二の長

橋である。

### 群馬縣下の道路愛護

群馬縣土木課では、今秋同地方に行はれることに決定し、大演習期間中土木課、各土木出張所員三百名を總動員して、出張所を

單位として、縣下を十六方面に分け、道路の修理、撒水除を組織し、土木課技師を方

面隊長に、土木出張所長を分隊長となし、修路撒水二方面に各支隊、分隊、班を編成

し、關係町村青年團、在郷軍人の援助を受けて、撒水自動車十五臺も出動し、修路心得を制定して、道路の修理と撒水清掃を行ふ

の修理、撒水除を組織し、土木課技師を方

### 富山縣下彌陀ヶ原への自動車道計畫

富山縣立山山上の國際スキー場彌陀ヶ原への自動車道路新設計畫は同縣國立公園開發委員會の要望によりて六月以來同縣電氣局の手により實地測量中なりしが、今回終

了したので、近く同橋畔に於いて盛大なる開通式が舉行される由である。

同橋は延長十七メートル十六、幅員六メートル五〇高さ水面より五メートルの鐵筋コンクリートのモダン橋にして、紅葉の勝地長澤川の溪谷を飾るものである。

了した。それによると、その自動車道路

は藤橋・弘法小屋間は延長一萬四千メートル幅五メートル五〇にして傾斜は最急勾配十五分の一、平均二十五分の一なし、中間に約三十間のトンネル一ヶ所を掘鑿の豫定である。この自動車道路に要する總工費は三十五萬圓の見込みである。同縣電氣局では、明年度中に實現させたい意向を有してゐるが、これが實現は同地方民の要望的である。

### 福井縣下琴洞橋の假吊橋

福井縣大野郡五個村宇佛原の九頭龍川に架設されてゐた琴洞橋は過般の大暴風雨のために墜落流失したが、同橋は大野町より大野郡石徹白村、穴馬村地方への咽喉部に當つてゐるがため、大野土木出張所では、九月二十七日以來應急假吊橋を架設中であつたが十月一日同假吊橋が竣工された、然し、この假吊橋は假橋の假橋なるため諸車の通行には耐え得ないので、諸車の通行し

得る橋梁も近く竣工する由である。

尙、同橋から上流下穴馬村字下山までの

道路は多數破損されたので、關係村民ら多く數出動し、復舊工事中であるがこれ亦近く復舊の見込みである。

### 東北地方

#### 青森縣八戸市の道路鋪裝

青森縣八戸市小中野町本通りの鋪裝工事は、同縣土木出張所の手によりて、總工費一萬三千圓を投じて、今回愈々着工されることとなつた。同町内は、市營バス、自動車、馬車、自轉車其他の交通機關が織るが如く頻繁な事がため、その眞只中で行はれてゐる鋪裝工事は大變な難路を極めてゐるが、近近都市への躍進といふ前觸れのため、市民に取つては寧ろ嬉しい混雜と見做されてゐる尙、同工事は本年十一月末までには完成される由である。

### 宮城縣櫻ノ目橋の開通

志田郡古川町と栗原郡宮澤、清瀧地方の山村を結ぶ櫻ノ目橋は工費三萬圓と半歳の月日を費やしモダン型の形を以て江合川上に架せられた此橋の竣工に依つて交通路は

### 青森縣々道酸湯・大鰐線 の竣工

青森縣下の十和田山中猿倉溫泉より御花部山を經て十和田湖々畔に通ずる迂曲曲折をなせる觀光道路たる縣道酸湯・大鰐線の改良工事は、總工費十二萬三千圓を投じて銳意工作を急いでゐたが、既に九分通り完成したので、近く全部完成する由である。

同線は觀光道路の白眉とされ、眺望は眼下に十和田湖の全景が箱庭の如く展開され、指呼の間に遊覽船の進行する様は宛然一幅の畫である。この觀光道路の竣工によって、國立公園候補地として十和田湖の價值は一層高めるられるであらう。

從來の三分の一の距離に短縮されたので、同地方民は非常の便利を感じることとなつた。

### 山形縣々道富澤驛・市野々線の改良工事

山形縣最上郡富澤驛と北村山郡宮澤村市野々とを結ぶ富澤驛・市野々線は、新庄・橋岡兩土木出張所に於て、三ヶ年繼續事業として、南北より改修中のところ愈々山刀切峠の難險を切り開き、十月下旬には自動車通行の自由な十二キロの縣道が通ずるのと、北村山郡北部の尾花澤町、大石田町方面より宮城縣北部に到る交通網は完備するところとなつた、このため富澤・市野々間に在る最上郡東小國村の赤倉温泉及び赤倉スキー場が世に紹介されることとなるであらう。

### 山形縣大綱橋の竣工

山形縣下庄内村山を結ぶ山形・鶴岡間の

六十里越街道中東田川郡東村と本郷村との境界に架設中なりし、大綱橋は、今回見事に竣工したので、近く盛大なる開通式が舉行される由である。

同橋は、本年度の救農事業として、總工費二萬四千圓を投じて架設された鐵橋にして、縣下第二位の高橋である。

黄澤は頗る勝景の地にして、林道が開通すれば上田市民の郊外散策に利用されるものと期待されてゐる。

### 岐阜縣大里郡高山・大名町の街路美化運動

尚、同橋の竣工によりて、昭和七年以來四十餘圓の巨費を投じて改良中なりし、山形・鶴岡間の六十里越街道は、幅員五メートル五〇の自動車道路に改良されることはなり、縣下の交通文化史上一新紀元を劃することとなつた。

### 東山地方

#### 長野縣の黃金澤林道

長野縣小郡神科村黄金澤林道の開鑿工事は既に四千メートル完成し、更に五百メートル繼續工事に取りかゝつた所、中途問題を起し、縣林務課でも中止の意向であ

つた所、神科村有志から陳情數頗の結果十月十二日縣林務課の技師が實地踏査の上繼續工事を行ふこととなつたのである。

### 東海地方

岐阜縣大里郡高山町の高山警察署では、高山本線の全通を直前に控えて觀光の山都、高山、大名田兩市の街路美化運動を計畫し、愈々十月十五日より同二十日までの六日間を街路美化週間として、兩市當局及び各方面團體の參加によりこれが主旨の徹底を期し、山都の美化に努めることとなり、今回兩町衛生組合及び各種教化團體、接客業者各組合などへ通牒を發した由である。

## 静岡縣下三島・修善寺間

### 幹線道路の鋪装

省線熱海線開通を目ざして觀光遊覽施設の完備を急ぎつゝある中伊豆各町村では、今回總工費三十萬圓を投じて、三島以南修善寺温泉場までの延長五里五町五十二間七分の幹線道路を全部硬石鋪装することに過般の關係町村會長會會議の席上に於て決定し、夫々地元負擔金捻出中であるが、これが具體案協議のため近く三島町團體事務所に第一回の打合せを行ふ由である。然して、鋪装さるべき路線は左記四路線として、本年度末までには完成の豫定である。

(一)三島驛より國道一號線に至る區間  
(二)駿豆線長岡驛より同温泉場に到る區間  
間

(三)三島町より修善寺に到る區間

(四)修善寺横瀬より同温泉に到る區間

## 靜岡縣清水市羽衣橋の竣工

靜岡縣清水市の巴川川尻縣港務所附近へ架設中なりし、羽衣橋は愈々今月末までには竣工する由である。

同橋は延長七十六メートル、幅員十一メートルのモダン橋にして、縣道となる等であるが、未だ兩翼の道路改修が済まないので當分の間は車馬の往來は禁止されてゐるが、これが完成すれば、三保、久能方面へ非常に近くなり、折戸灘を眼下に快速なトライヴが出来るであらう。

## 靜岡縣交通安全協會清水 文部發表の交通安全標語

靜岡縣交通安全協會清水支部では、兼ねてより交通安全に關する標語を募集中なりしが、應募六百十五點の多數であつたが、審査の結果その中より左記の標語を入選と決定した。

## 工事

一寸止つて右左。(四)選外佳作、(イ)急ぐ瞬間互に譲れ。(ロ)相互避難安全第一  
(ハ)明日の一步も左り側。(ニ)急ぐな競  
ふな横切るな。(ホ)心を緊めて弛めよ無  
事故。

## 近畿地方

### 京都府下大天橋の開通

京都府下天の橋立公園の新橋大天橋は、本年一月末、總工費一萬三千五百圓を投じて、架設中なりしが、今回見事に竣工したので、近く同橋々畔に於て盛なる開通式が

舉行される由である。

同橋は、鐵筋コンクリート橋にして、勾欄は檜の白木造りに古風な凝寶珠づきで、橋面はアスファルト張りの堅牢優雅な橋で、日本三景の天橋をかざる名物橋である。

## 大阪府々道野間峠の復舊

大阪府池田土木出張所が、十五萬圓の工費と三ヶ年の年月を費して今夏漸く完成せしめた豊能郡東能勢村宇野間口と東郷村とに跨る府道妙見・池田線中野間崎の難工事個所は今回の災禍で崩潰し、幅員十六メートルの坦々たる道路は兩側面より落下した岩石や土砂のため埋め盡されて慘憺たる有様となつたが、同時に産業都市大阪と裏日本、山陰方面とを結ぶ上に府道池田・龜岡線に次いで重要路線であるため、これが復舊は焦眉の急とされてゐる關係上同出張所では三萬圓の經費を以つて二ヶ年間繼續事業とし、徹底的な復舊工事を行ふこととなり、側面勾配もさらに緩くして全面的な改良工事とともに着手する豫定にして、大阪府土木部でも右工費の半額を國庫補助によらべく申請中である。

## 兵庫縣尼崎市の都市計畫 道路網

今回の風水害によりて大打撃を蒙つた尼

崎市の再建計畫は縣都市計畫課に於て成案を急いでゐるが、内務省や兵庫縣が非常な盡力をしてゐるので、多年問題となつてゐた同市の都市計畫道路網も完成することとなつた。從つて、同市では、これは禍ひを轉じて福となすものであると非常に期待をかけてゐる。

同市の都市計畫道路網は、今後の海岸地帶の災變に備へるために阪神國道に通ずる避難路線が必要であるといふことを眼目として、縣市の協議の結果施工範囲は次の如く決定した。

## 島根縣々道濱田・加計線 幅員擴張工事

島根縣々道濱田・加計線の幅員擴張工事は自動車交通の發達に伴ひ多年地方民の要望するところであつたが、愈々本年度より着工することに決定し、十月九日那賀郡石見村小學校に於て、起工式が舉行された。

(一)築港東濱新田から出屋敷を貫き北へ阪神國道に通ずる大州橋線(幅員二十メートル)

橋線に結び北へ伸びて國道玉江橋西詰で伊丹・尼崎産業道路に聯絡する五合

橋線(幅員二十七メートル)

事を行ふものである。

(三)初島からお茶屋橋筋を北へ阪神國道へ出るお茶屋橋線(幅員二十七メートル)と更らに、本町筋で同線と分れ、東へ辰巳町を経て本年度中に完成豫定の大坂都市計畫傳法線に握手せしめる東部本町線(幅員二十二メートル)

## 島根縣松江市の道路鋪装

### 高知縣下の交通安全ダイ

島根縣松江市内の道路鋪装工事は、十一月二十日より着工される豫定であるが、これに費す總工費は一萬九千餘圓にして、鋪装路線は左記の四線である、尙、これが竣工は十二月十五日の豫定であるが、これによりて同市の道路の面目は一新されるであらう。

(一) 中通線——松陽新聞社前より勸業銀行松江支店前まで延長百八十二メートル  
一、幅員十メートル

(二) 東本町南通り、延長三百三十六メートル九、幅員平均五メートル  
(三) 同本線延長三百三十七メートル二十  
五、幅員歩車道とも十一メートル  
(四) 同元木町延長三百三十五メートル  
六、幅員五メートル

尙、管下本山警察署では、管内荷物自動車組合と聯合して左記の通り交通宣傳を行ふ由である。  
二十日は貨物自動車二十臺を出して嶺北各町村を廻つて宣傳ビラを配布し、二十一

日は各學校並に街路に於て交通安全に關する講演を行ひ、二十二日は交際取締の勵行を行ふ由。

## 九州地方

### 福岡縣下の道路愛護

福岡縣土木部では「吾等の道路を愛護せよ」といふスローガンを掲げて、十月二十日縣下の國道延長三十里、縣道延長九百里、市町村道延長二千里につき一齊に道路愛護を行ふことになつた。

同縣では「道路は自分の使ふもの」といふ觀念を縣民全體に普及徹底せしめ、國縣費、地元負擔等多額の費用を投じて築造した道路をより良く使用し、且つ能率を擧げしめるために昭和二年以來十月十日を道路愛護日と決定し、道路愛護に關する催しを行ふてゐるのであるが、本年は國庫災害費の査定其他已むを得ぬ事情から之れを延期し、十月二十日に實施することになつたの

## 四 國 地 方

である。而して、同日は例年の如く、全土

本管區職員を總動員して指導督勵に當らしめ、關係者を擧げて道路改修上技術的に貢献する範圍即ち耳切り障害木の伐採側溝さらひ等を行ふ豫定である由である。

### 佐賀縣の道路改良

佐賀縣の道路は他の九州各縣に比して非常に惡道路なるため、縣當局では、これが改良を痛感し、義きに時局匡救費として十五萬圓の國庫補助を仰ぎ改良工事を施行せんとしたるが、僅かに十三萬圓を割當られれたるがため折角の道路改良事業も一頓挫を來してゐたが、府縣道は縣獨自の事業として縣の起債と地元負擔により總工費二十二萬五千圓を以つて改良工事を起すべく兼ねて十六萬八千九百圓の起債認可を申請中であつたが、今回十六萬七千五百圓は地元負擔となして、工事に着手することとなつた。而して、工事個所は佐賀

縣下全般に亘り東松浦郡唐津市松浦橋（總工費二十三萬圓三ヶ年繼續事業）を初め經費一ヶ所一萬圓程度のもの十八ヶ所である。これが全部改良を見た曉には、佐賀縣の道路も他に比して遜色なきものとなるであらぶ。

### 佐賀縣下鏡山登山道路

佐賀縣下鏡山登山道路改良工事は、地元鏡村より着手し、多數の人夫を使役して目下鎌意工作中であるが、十一月末日までには完成する豫定である。同工事が完成したらば、同登山道路は好適のドライヴ・ウエイとなるであらぶ。

尙、濱崎町砂子區では、重儀三郎氏らの發起により、登山道路に平行して唐津灣に面する約十二町歩の斜面に櫻を植樹する計畫を樹て既に、十町歩に渡りて一千二百本の苗木植付を済まし、殘る二町歩を唐津、濱崎方面の有志の寄附を仰ぐこととなつてゐる由である。

## 大分縣下の道路愛護活動 映寫會

大分縣土木課管下の各土木出張所では、關係町村役場と協力して、道路の改良並に愛護の思想を普及徹底せしめる目的を以つて多年道路愛護活動寫眞の映寫に盡力せる

交通知識普及映寫會を招いて、下記の地方に於て、八月十八日より十月十三日まで、道路の改良並に愛護に關する活動寫眞を映寫せしめたが、各地とも非常な盛會にして一般地方民に道路の改良並に愛護に關する思想を涵養するに大いに役立つた由である。

八月十八日より同廿四日まで、竹田土木出張所管下の直入郡竹田町、同郡久住町、同郡宮城村、同郡玉來町、同郡入田村、同郡宮砥村、八月二十五日より九月四日まで三重土木出張所管下の大野郡長谷川村、同郡上緒方村、同郡小富士村、同郡合川村、同郡牧口村、同郡川登村、同郡野津市村、同郡大飼町、同郡井田村、同郡大野町、同

郡三重町、九月五日より同十四日まで、日

田土木出張所管下の日田郡日田町、同郡三

芳村、同郡大山村、同郡中川村、同郡小野

村、玖珠郡森町、同郡玖珠町、同郡東飯田

村、同郡野上村、九月十五日より同十九日

まで、佐伯土木出張所管下の北海部郡白杵

町、同郡上北津留村、同郡佐志生村、同郡

下ノ江村、同郡津久見町、九月廿一日より

廿八日まで、國東土木出張所管下の西國東

郡高田町、同郡田深村、同郡竹田津町、速

見郡八坂村、同郡杵築町、同郡中山香村、

九月二十九日より十月六日まで、中津土木

出張所管下の宇佐郡安心院村、同郡津房村、

同郡南院内村、同郡東院内村、同郡高並村、

同郡兩川村、同郡東耶馬溪村、十月八日よ

り十三日まで、國東土木出張所管下の東國

東郡伊美村、同郡來浦村、同郡富來町、同

郡國東町、同郡武藏町、同郡安岐町

### 朝鮮全道の橋梁架替計畫

朝鮮全道に於ける交通網の完備は朝鮮開發發の先驅をなすものなるを以つて、朝鮮總督府土木部では、今回割期的な全道の橋梁架替計畫を樹立し、來年度地方費豫算を要求することとなつた。それによると、總工費四百六十八萬圓を投じて準地方費道路の橋梁全部をコンクリートに架替へるものにして、これは毎年三十萬圓支出し、十三ヶ年繼續事業として施行されるものである。

これによつて木橋からコンクリート橋に改良される橋梁は千九百十二の多數である。この計畫は土木部が實現を期して、多年調査を續け、愈々具體化を見て豫算要求の運びとなつたものである。これが完成した暁には、朝鮮全道の交通は非常に便利となるであらう。

同國道は總工費百三萬三千餘圓を投じて土盛り、コンクリート、アスファルト、自動車車輪幅のコンクリートの四種を試験的に使用して施工されたものにして、これが

實驗の結果は、同國將來の國道建設に大いに役立ち得るものである。尙、同國道建設に當りては、總延員數十萬人の土工が使役され、彼等は王道國家建設の力強い理想に燃え力一杯に努力し、コンクリート鋪装、土砂運搬には涙ぐましい健闘が續けられた由である。（九、十、二十、記）